

九州観光推進機構 活動レポート

— 2012年8月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 7月のトピックス

○ 釜山での九州観光説明会・商談会開催（7月5日・7月7日：釜山広域市）

韓国の旅行会社やランド社を対象にした「釜山での九州観光説明会・商談会」を開催し、九州の観光関係者と釜山の旅行会社等の商談を促進しました。今年度は、日本より観光関係社54社にご参加いただき、韓国の旅行社・ランド社等に対し、商談を行なっていただきました。また、観光説明会・商談会開催に合わせ、釜山市内で人通りの多い四面エリアにあるロッテデパート横のシャ롯데広場にて一般消費者向け観光プロモーションも行ない、エンドユーザー向けへの九州観光のPRを行ないました。日本の観光関係者の方も参加いただき、ステージ上で各施設様のPRも行なっていただきました。韓国釜山地域からの、今後の九州への誘客が期待されます。



○ 中国「南国風」スタッフを招請（7月7日～11日：佐賀、長崎、熊本、福岡）

中国各地の主要旅行会社や富裕層に配信している九州専門観光誌「南国風」（年4回発行）のスタッフを招請し、同誌で九州の情報を発信します。2回目となる今回は、北部九州各県の「世界一、日本一を訪ねて」と「温泉美人を探せ」をテーマに取材されました。8月発行予定の第6号に掲載されます。

○ 中国上海テレビ局「上海東方明珠TV」招請（7月9日～18日：九州各県）

上海を中心とした中国全土に放送網を有する上海市のテレビ局の取材陣5名を招請し、九州各地の観光地等で積極的な取材がなされました。8月中旬に同局の情報番組の中で放映を予定されており、美食、自然、温泉など九州の持つ魅力が紹介されることで、今後の誘客が期待されます。



○ アジアドラマカンファレンス関係者招請（7月13日～14日：九州各県）

「第7回アジアドラマカンファレンス」に参加する、日本、韓国、北京、上海、香港、台湾等のドラマ作家やプロデューサー等などのドラマ制作担当者を対象に、今後のドラマロケ候補地として九州をPRするためにファミツアーを行ないました。

ファミツアーは北部九州を2コース、南九州を1コース設定し、各県のドラマロケ候補地を実地見学いただきました。参加者からは、今後のドラマ等の制作において大変参考になった、と感想を寄せていただき、今後のドラマ等での九州撮影が期待されます。



○ JR西日本主催「南九州たびフェア」出展（7月14日～15日：岡山駅）

JR西日本が主催する岡山駅前のイベント「南九州たびフェア」に熊本県、宮崎県、鹿児島県、長崎市とともに参加し、各県の物産や観光スポット、新幹線を利用した九州への誘客をPRしました。

14日は天気予報が雨であったため出足が心配されましたが、2日間で前年を上回る来場者となりました。九州観光推進機構では、参加していない福岡県、佐賀県、大分県の情報を発信し、ブース内で行なった各県に興味をもっていただけるような問題で構成したミニクイズラリーには、2日間で1,150名が参加され、九州のPRを強く実現することができました。

※ 来場者 14日 13,000名、15日 14,000名。計27,000名（前年比108%）。今後の岡山地区からの送客増に繋がったイベントとなりました。



○ 産経新聞大阪本社とのタイアップイベント「旬感！ぶらり九州 食べて・ひたって・楽しんで」開催

（7月20日：大阪市）

九州新幹線の全線開業で移動時間が大きく短縮された関西地域から一層の観光誘客を図るため、九州観光の魅力を伝えるイベント「旬感！ぶらり九州 食べて・ひたって・楽しんで」を、産経新聞大阪本社とのタイアップで、7月20日（金）大阪市梅田のサンケイホールブリーゼで開催しました。イベントには3,000人を超える申し込みがあり、抽選で選ばれた約700人が参加いただきました。

イベントは2部構成で、第1部はタレントの梅沢富美男氏が、「私の知る九州の魅力」と題し、公演などで九州各地を訪れた観光地、グルメ、酒などの体験を軽妙なトークで披露し、続く第2部では、九州各県の食と旬な観光情報の各県プレゼンテーション大会を行い、盛況なイベントとなりました。今後の関西地区からの送客増が期待されます。



○ 台湾でのイベントを活用した九州観光PR（7月21日：台北市内）

台北・天母運動公園にて開催される「第26回台北日本人学校 夏祭り」において、九州観光をPRするための「楽しい九州」というテーマブースを設け、機構（1000部）・各県（100部）・JR九州（700部）のパンフレットと今回のイベントのために製作した2000本のうちわを全部配布し、アトラクション、クイズ大会等によるノベルティの提供、九州観光のDVD上映等により、台北の一般市民における九州旅行への興味・関心の一層の喚起に努めました。イベントを行う4時間で、来場者数は1万人を超えました。



○ 台湾「聯合報」ウェブサイトでの九州観光情報配信（7月24日～：九州全県）

台湾の四大紙の一つである聯合報のウェブサイト上に九州各県の観光素材をブログ形式で定期的に発信していく取組みが始まりました。同社との良好な提携関係を有する西日本新聞社が、九州各地の取材、原稿作成、繁体字翻訳、聯合報ウェブサイト上へのアップロードまでを総合的に管理運営するものです。

まず、7月24日に第1回目が掲載され、鹿児島県の指宿温泉、唐船峡を、当機構のPRキャラクターであるキューちゃん楽しくレポートしました。月間約2億の総PVを誇るこのサイトに、この後、来年2月まで順次7県の観光素材情報の掲載が続き、過去ブログもアーカイブに蓄積されていくことから、台湾の一般消費者に対する九州観光の訴求力の高まりが期待されます。



○ タイのメディア(テレビ局)招請 (7月25日～8月1日:大分、熊本、長崎、佐賀、福岡)

タイで有名な旅行テレビ番組「SAY HI!」の取材班を招請し、レンタカーを使用して九州の観光素材を取材しました。タイにおいて8月～9月のテレビ放映による情報発信を行います。また、当番組のレポーターT i kさんはビジットジャパン・タイ親善大使も務めており、取材前日の7月24日に、国土交通省九州運輸局 玉木局長を表敬訪問しました。

○ シンガポール 九州観光説明会・商談会及び教育旅行セミナー開催 (7月26日～27日:シンガポール)

シンガポールにおいて、7月26日、シンガポールの訪日取扱旅行会社及びマスコミ等38社66名を招請し、九州の魅力的な観光素材を紹介し、一般旅行及びインセンティブ旅行の誘客回復を図るために、「九州観光説明会・商談会」を開催。また、同説明会・商談会の翌日、7月27日、教育旅行の再開を促すため、シンガポールの教育関係者37校54名を招請し、九州教育旅行セミナーを開催しました。九州の観光素材を紹介するとともに、豪雨災害の正しい状況を伝えることで、九州の安全性についてもPR。

○ 台湾・民視テレビ番組「美鳳有約」招請 (7月30日～8月3日:佐賀、長崎、大分)

特に30代から高齢層まで台湾で絶大な人気を有する国民的マルチタレント陳美鳳(チェン・メイフォン)が司会を務め、旅番組部門地上波視聴率第一位のテレビ番組「美鳳有約」(メイフォンとデート)を北部九州に招請し、東京や大阪・京都と異なる九州の魅力を台湾で人気の旅行番組を通じて広く紹介することにより、訪日旅行の訪問地としての九州への興味・関心の一層の喚起を図ります。



○ 航空プロモーション事業「よかよかエアラインズ」発足記念式典開催 (7月31日:羽田空港ターミナル)

九州へ就航している航空会社14社・九州各県・各主要空港ビルといった官民が一体となり、九州への空の旅を提案・宣伝していく航空プロモーション事業「よかよかエアラインズ」発足記念式典を羽田空港にて開催しました。

当日は夏休みで賑わう出発ターミナル横の「マーケットプレイス」にて、当エアラインの代表取締役であるタレントのIKKOさんの代表就任式や、プレス各社向けの各航空会社キャビンアテンダントのフォトセッション、石原会長をはじめとする九州各県代表者によるテープカット等のステージイベントを行った後、九州各県における観光プレゼンテーション及び観光パンフレット配布を行いました。

またIKKOさんと石原会長とプレスによるJAL植木社長及びANA伊東社長への表敬訪問も合わせて行い、当プロモーションの意義説明とご協賛に対する御礼をしました。

プレスを活用した情報発信を行うことにより、航空機を利用した九州旅行喚起を訴求する目的で行う当プロモーションのスタートイベントでありましたが、無事盛況に終わることができ、3月まで続くプロモーションの成功と九州への航空機利用客の増加が期待されます。



○ 九州産業大学で特別講義（4月～7月）

九州各県職員及び機構職員等が九州産業大学に出向き、商学部観光産業学科の約40名の学生に九州観光の魅力や各県の観光等について、全15回の内、10回の講義をおこないました。

この講義は、本機構が取り組む将来の観光人材の育成事業の一環として、平成22年度から九州産業大学からの依頼により実施しているものです。今年度においても九州広域における観光の魅力（温泉・食・歴史・国際観光等）や九州各県の観光情勢を、観光行政や実務に携わっている専門家による特別講義として、体験談やリアルタイムな観光情勢の動き等を織り交ぜながら講義を実施しました。

受講生は、普段の講義とは違う実務者の生の声が聞けるとあって、真剣な眼差しで聞き入っていました。また、受講生の感想としては、地元九州の観光地の魅力をあらためて認識した。大学教員の講義よりも新鮮さを感じた等が述べられていたと、大学から報告がありました。

今後、将来の観光産業を担う学生の活躍が期待されます。



○ 台湾MOOK出版社「TRAVELER」での九州観光情報配信（7月：福岡、熊本、鹿児島）

○ 「Az旅遊生活」(華訊事業)での九州観光情報配信（7月：宮崎、鹿児島）

それぞれ7月号で九州、南九州を特集しました。TRAVELERについては、46ページに及ぶインパクトのある特集記事となっており、AZ 旅遊生活についても写真を中心とした魅力的なものに仕上がっています。九州新幹線の開業、中華・エバーの福岡線増便、中華の鹿児島便の就航とも合わせた企画記事として、台湾の読者が、九州をより身近な観光地と感じてくれることが期待されます。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

- ・株式会社メディアプラネット

所在地 福岡市中央区天神1丁目4番1号 西日本新聞会館
代表者 代表取締役社長 菊池 恵美

- ・大分アリストンホテル

所在地 大分市都町2-1-7
代表者 総支配人 小林 勇

○ 8月以降の主な予定

- ・平成24年度「九州7県合同修学旅行説明会（8月7日：名古屋、20日：東京、21日：大阪）
- ・タイ及びシンガポールにおける広告支援（8月：タイ、シンガポール）
- ・タイ・海外旅行博出展事業「TITF 2012」（8月16日～19日：タイ、バンコク）
- ・香港「フード・エキスポ 2012」会場内での「経済交流セミナー」における観光PR（8月17日：香港）
- ・シンガポール・海外旅行博出展事業「NATAS Holidays 2012」（8月24日～26日：シンガポール）
- ・香港・旅行会社招請（9月3日～7日：大分、熊本、鹿児島）
- ・韓国人ブロガーを招請（9月中旬：九州各県）
- ・中国旅行博出展事業「広州CITE 2012」（9月14日～16日：広州）
- ・オールアジアクルーズ出展事業（9月26日～28日：上海）
- ・「女子旅イベント」（9月28日、29日：東京）
- ・「平成25年度 上期観光素材説明会・相談会」
（10月11日：東京、23日：名古屋、25日：大阪、30日：広島）
- ・「来て見て食べて感動！九州観光・物産フェア 2012」（10月12日～14日：東京）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp